

# アルファジャパン美容専門学校

## 学校自己評価報告書 (平成 28 年度)

# 目次

## 1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特徴は何か
- 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者に周知されているか

## 2. 学校運営

- 目的に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか
- 人事・給与に関する組織整備など、意思決定システムは整備されているか
- 教育活動などに関する情報公開が適切になされているか

## 3. 教育活動

- 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方策などが作成されているか
- 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえて、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか
- 美容業界の連携によりカリキュラムの作成・見直しなどが実施されているか
- 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか
- 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や、教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修は行われているか
-

#### 4. 学習成果

- 就職率の向上はなされているか
- 美容師資格の取得はなされているか
- その他美容関連の資格取得はなされているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

#### 5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理の支援体制は整備されているか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援体制はあるか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか

#### 6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
- 学校外の実務実習・インターンシップの体制は整備されているか
- 海外研修などの実施の体制は整備されているか
- 防災に対する体制は整備されているか

#### 7. 学生募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学費は妥当なものとなっているか

## 8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務に関する会計監査は適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

## 9. 法令などの遵守

- 法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価を公開しているか

## 10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか
- 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託などが積極的に行われているか

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地		
学校法人本田学園 アルファジャパン 美容専門学校	平成18年3月17日	本田 宗一郎	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町148番地 (電話) 079-282-8282		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地		
学校法人 本田学園	平成18年3月17日	本田 順子	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町148番地 (電話) 079-282-8282		
目的	サロン関係機関との連携のもと、就職先では即戦力につながる能力を育成し、教育水準の維持向上のための職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。				
課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生課程	美容科	2年(昼)	2163単位時間 (又は単位)	平成20年3月12 日	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	630単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	870単位時間 (又は単位)	663単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	40人	4人	11人	15人	
生涯学習環境の整備に関する 特記事項 (任意記載)		美容科通信課程の設置をしています			

## アルファジャパン美容専門学校教員一覧表

学校名	学校法人本田学園 アルファジャパン美容専門学校		所在地	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町1 4 8 番地 TEL： 079-282-8282 FAX： 079-282-9292	
職名	担当教科	氏名	職名	担当教科	氏名
理事長	美容文化論	本田 順子	教員	資質表現	本田 久美
校長	衛生管理 美容実習 美容保健 美容文化論 美容運営管理 関係法規・制度	本田 宗一郎	教員	美容の物理・化学	多根 貞武
主任	美容運営管理 美容技術理論 美容実習 衛生管理 美容総合技術	安東 達也	教員	文化論	森口 毅
教員	美容技術理論 美容実習 美容運営管理 美容総合技術	高木 昌一	教員	関係法規・制度	飯塚 守
教員	美容技術理論 美容実習 美容保健 美容総合技術	清水 聡	教員	美容総合技術 美容実習	井植 勉
教員	美容技術理論 美容実習 美容総合技術 まつ毛エステ	西野 朝子	教員	エステ	杉森 きぬる
教員	エステ	横山 尚子	教員	美容総合技術 美容実習	赤崎 喜彦
教員	メイク	近藤 亜紀	事務局		池淵 雅生
教員	ネイル	岩崎 久美子	事務局		乗船 淳子

## 1. 教育理念・目標

### 評価

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

理念・目的・育成人材像は適切に伝わっている。

### 課題と改善点

保護者への周知については保護者の意見が伝わってこないのが不安です。

### 昨年の課題と改善点

学校新聞を発行したが周知されているか確認できない。

## 2. 学校運営

### 評価

評価項目	採点
目的に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか	4
人事・給与に関する組織整備など、意思決定システムは整備されているか	4
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー 2 級）資格講座・職業実践専門課程講座をスタートさせた。

学生数確保のために広報専任の先生を 1 名新規採用した。

### 課題と改善点

美容専門学校で県下初認定を受けた、職業実践専門課程の認知度をどう上げるか。

### 昨年の課題と改善点

広報の年間計画を立てる。

### 3. 教育活動

#### 評価

評価項目	採点
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方策などが作成されているか	3
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえて、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	4
美容業界の連携によりカリキュラムの作成・見直しなどが実施されているか	3
美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4
人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や、教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	3
職員の能力開発のための研修は行われているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

#### 現状

職業実践教育は授業の一環として行われている。

## 課題と改善点

カリキュラムの見直しが行われたが実質的に大きな変化を感じない。

教員研修を行っているが先端技術、知識の習得にはつながっていない。

業界との連携は同一事業所だけでなく他事業所との連携も考えるようにした方がよい。

## 昨年の課題と改善点

教員の指導力評価、それにより研修し指導力を向上させる。

## 4. 学習成果

### 評価

評価項目	採点
就職率の向上はなされているか	4
美容師資格の取得はなされているか	4
その他美容関連の資格取得はなされているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

年度		入学者数		退学者数		卒業者数		就職者数	
			計		計		計		計
平成 18 年度生	男	3名	5名	1名	1名	2名	4名	2名	4名
	女	2名		0名		2名		2名	
平成 19 年度生	男	3名	5名	0名	0名	3名	5名	3名	3名
	女	2名		0名		2名		0名	
平成 20 年度生	男	5名	7名	1名	1名	4名	6名	3名	5名
	女	2名		0名		2名		2名	
平成 21 年度生	男	2名	6名	0名	2名	2名	4名	2名	4名
	女	4名		2名		2名		2名	
平成 22 年度生	男	8名	41名	1名	9名	7名	32名	4名	29名
	女	33名		8名		25名		25名	
平成 23 年度生	男	11名	42名	3名	7名	8名	35名	8名	35名
	女	31名		4名		27名		27名	

平成 24 年度生	男	12 名	27 名	3 名	4 名	9 名	23 名	9 名	23 名
	女	15 名		1 名		14 名		14 名	
平成 25 年度生	男	7 名	21 名	0 名	4 名	7 名	17 名	7 名	17 名
	女	14 名		4 名		10 名		10 名	
平成 26 年度生	男	4 名	30 名	1 名	6 名	3 名	25 名	3 名	23 名
	女	26 名		5 名		22 名		22 名	
平成 27 年度生	男	5 名	15 名	1 名	2 名	—	—	—	—
	女	10 名		1 名		—		—	

※26 年度生・27 年度生については平成 28 年 3 月 31 日時点

■本校における美容師国家試験合格率（昼間生）

年度	合格率
平成 19 年度生	80%
平成 20 年度生	100%
平成 21 年度生	100%
平成 22 年度生	96.7%

年度	合格率
平成 23 年度生	68.6%
平成 24 年度生	95.5%
平成 25 年度生	94.1%
平成 26 年度生	100%

■ 美容師国家資格取得以外でも各種検定の取得を積極的に奨励している

【JMA 学内メイク検定結果】

平成 25 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
4 級	12 人	2 人	0 人	0 人	14 人	85%
3 級	10 人	0 人	0 人	1 人	11 人	90%

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
4 級	25 人	1 人	0 人	1 人	27 人	92%
3 級	26 人	0 人	0 人	1 人	27 人	96%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	0 人	0 人	0 人	12 人	100%

平成 28 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	0 人	0 人	0 人	12 人	100%

**【JNA 日本ネイリスト技能検定結果】**

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	9 人	11 人	0 人	6 人	26 人	34%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	11 人	0 人	0 人	12 人	8.3%

平成 28 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	9 人	3 人	0 人	0 人	12 人	75%

**【日本まつ毛エクステンション協会 ジュニアアイデザイナー検定結果】**

平成 25 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	6 人	0 人	0 人	0 人	6 人	100%

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	5 人	0 人	0 人	17 人	70%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	21 人	4 人	0 人	0 人	25 人	84%

平成 28 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	11 人	0 人	0 人	0 人	11 人	100%

■ 通信生の状況

年度		入学者数		退学者数		卒業生数	
			計		計		計
平成 18 年度生	男	10 名	19 名	1 名	6 名	9 名	13 名
	女	9 名		5 名		4 名	
平成 19 年度生	男	8 名	24 名	1 名	4 名	7 名	20 名
	女	16 名		3 名		13 名	
平成 20 年度生	男	10 名	22 名	2 名	2 名	8 名	20 名
	女	12 名		0 名		12 名	
平成 21 年度生	男	8 名	19 名	2 名	5 名	6 名	14 名
	女	11 名		3 名		8 名	
平成 22 年度生	男	1 名	7 名	1 名	2 名	0 名	5 名
	女	6 名		1 名		5 名	
平成 23 年度生	男	8 名	20 名	1 名	3 名	7 名	17 名
	女	12 名		2 名		10 名	
平成 24 年度生	男	2 名	10 名	0 名	1 名	2 名	9 名
	女	8 名		1 名		7 名	
平成 25 年度生	男	12 名	22 名	1 名	2 名	—	—
	女	10 名		1 名		—	
平成 26 年度生	男	16 名	40 名	5 名	6 名	—	—
	女	24 名		1 名		—	
平成 27 年度生	男	10 名	37 名	0 名	0 名	—	—
	女	27 名		0 名		—	

■ 本校における美容師国家試験合格率（通信生）

年度	合格率
平成 19 年度生	36.8%
平成 20 年度生	75.0%
平成 21 年度生	21.4%

年度	合格率
平成 22 年度生	80.0%
平成 23 年度生	87.5%
平成 24 年度生	77.7%

## 課題と改善点

昼間生の入・退学について入学前に2年間の意思をしっかりと確認しないといけない。  
学生の登校・技術習得の意欲向上を目指したい。  
美容免許以外の資格合格率の向上。

## 昨年の課題と改善点

美容師免許以外の資格の合格率の向上。

## 5. 学生支援

### 評価

評価項目	採点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援体制はあるか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

並木学園との提携、文化祭の手伝い等改善が見られる。

学生からの口頭での相談が大半である。

## 課題と改善点

支援体制はまだまだ整備されていない。

## 昨年の課題と改善点

文化祭、体験授業などの交流を増やすようにして高校との連携を深めるようにする。

## 6. 教育環境

### 評価

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
海外研修などの実施の体制は整備されているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

対応できている。

## 課題と改善点

防災訓練を少し充実させるようにする。

## 昨年の課題と改善点

設備を整えるようにする。

## 7. 学生募集

### 評価

評価項目	採点
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学費は妥当なものとなっているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

学生募集は各教員で行っているが定員に達していない。

### 課題と改善点

認知度の向上、情報の共有を密にするように努力する。

### 昨年の課題と改善点

認知度の向上。

## 8. 財務

### 評価

評価項目	採点
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

昼間生 美容科 23人 T/B科 9人

通信生 14期 34人 15期 36人 16期 40人

29年度予定美容科 29人 T/B科 11人

### 課題と改善点

通信生はほぼ定員に達しているが昼間生は達していない、認知度を上げるようにするにはどうすればよいか。

### 昨年の課題と改善点

8月に厚生労働省の専門実践教育訓練講座の指定に認可されましたがどれだけ生徒が集まるか、どのように周知したらいいのか。

## 9. 法令などの遵守

### 評価

評価項目	採点
法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

問題なし

### 課題と改善点

#### 昨年の課題と改善点

法令遵守に努力する。

## 10. 社会貢献・地域貢献

### 評価

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	4
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

### 現状

依頼のあったものに関しては受けている。

### 課題と改善点

学生が学んだ技術を活かせるボランティアがあれば協力出来る事が増えるのではないかと。

### 昨年の課題と改善点

単年度ではなく毎年行うボランティアを増やすように。